

四国大学紀要, (A) 50 : 85–92, 2018
Bull. Shikoku Univ. (A) 50 : 85–92, 2018

研究ノート

対人援助に必要な言葉かけに対する 日本語教育文法からのアプローチ — 介護福祉士養成課程の外国人留学生に 効率的に生活支援技術を習得させるために —

*元 木 佳 江, *小 倉 和 也, **田 中 大 輝

Japanese Language Education Approaches Based on the Pedagogical
Grammar of Japanese :
To Teach Foreign Students to Acquire a Technique of Living Support
Effectively in the Care Worker Training Course

Yoshie MOTOKI, Kazuya OGURA and Daiki TANAKA

I. はじめに

超高齢社会へ加速度を増す中、2017年に、介護福祉士国家資格を取得した留学生に対して、「介護」の在留資格が付与されることとなった。

介護の日本語教育に関するこれまでの研究、開発を概観すると、EPA 介護福祉士候補者受け入れ当初¹⁾から、外国人介護福祉士候補者にむけてのテキストや国家試験対策本などの開発が進められており²⁾、近年ではインターネットを利用した学習支援サイト研究開発も進められている³⁾。これらは、国家試験に合格することを目的とした研究開発である。一方で、介護福祉士養成課程では、支援技術に伴うコミュニケーション力も育成される。しかし、介護現場のコミュニケーションにおいてどのような言葉が使われ、どのような表現が外国人にとって難しいのかといったことについては、まだ、多くの研究がなされていない。さらに、養成校においては留学生に対する指導に慣れていない教員も少なくなく、留学生のつまずきにうまく対処できない場合もある。留学生が効率的に専門知識や技術を習得するためには、どのような日本語表現が使われ、その表現を使うためにはどのような学習が必要であるのかを明らかにすることが求められる。

本研究では、介護福祉士養成課程における領域「介

護」の教育内容である「生活支援技術」に着目し、ここで使われる言葉かけについて日本語教育文法の視点から分析を行うことにより、現場で日本語を使うためにどのような日本語学習が必要であるかを明らかにする。

II. 研究背景

介護福祉士国家資格取得を目指す留学生は、在学期間中に「人間と社会」、「介護」、「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」の4領域について合計1850時間以上学習し、介護福祉士に必要な知識や技術、価値観を涵養していく。そのうち300時間は、利用者に対する尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自律・自立の尊重と潜在的な力を引き出すことができるように「生活支援技術」が位置付けられている。「生活支援技術」の学習内容は、利用者の生活にに応じて、自立支援に資することができるように、身じたくや移動、食事、入浴・清潔保持、排せつなど多岐にわたる。この授業は、根拠に基づいた支援技術を身につけるために、教員によるデモンストレーションや視聴覚教材等を用いて学習することを目的とする。これらの演習を通し生活支援技術を学ぶ中で、コミュニケーション技術の習得は重要な要素となっている。

本来コミュニケーションとは、話し手（送り手）と聞き手（受け手）の言語と非言語の双方向のやり取りを指す。（『コミュニケーション技術』p.9）一方、介護場面においては、難聴や言語障害などのコミュニケーション障害がある場合でも、双方向のやり取りが成立することが求められる。介護福祉では、これらのやり取りも含めてコミュニケーションと捉えられている。本稿では、このコミュニケーションの技能の一つである言葉かけに注目し、文法的に分析することを試みる。

Ⅲ. 研究目的

介護現場で使われる対人援助に必要な言葉かけを日本語教育文法の視点から分析し、外国人が運用するうえで必要な日本語学習項目を提示する。

日本語教育として、対人援助における言葉かけに必要な日本語学習項目が明示されることにより、個々のレベルに合った日本語学習が設定できる。

介護教育として、外国人留学生にとって日本語の運用レベルでのつまずきを取り除かれることで、専門技術の習得に専念できる。

科目間の連携として、アーティキュレーションの確立が期待できる。研究は介護教員と日本語教員が共同で行うことから、教師間でのコミュニケーションが図られ、日本語学習と生活支援技術の学習との間で連続性や一貫性を構築する基盤ができる。

Ⅳ. 研究方法

介護福祉士養成課程のカリキュラムにおける「生活支援技術」の教育内容を構成する科目の一つである「清潔の支援技術」を取り扱う。科目「清潔の支援技術」の授業では、学生に実技を教授するために、援助の際に必要な言葉かけ内容を示したモデル動画を作成し、教材とした。その動画教材から介護者の言葉かけの部分を抽出し、分析対象とした。

研究は、以下の方法で進める。

- ① 介護福祉教育の視点から言葉かけの根拠と留意点を分析する。

- ② 言葉かけの各発話を日本語教育文法の視点から分析する。
- ③ 文法項目と日本語のレベルについて考察する。
- ④ 介護福祉教育の視点からの分析と日本語教育文法の視点からの分析の関係性を考察する。

V. 言葉かけの分析

1. 介護福祉教育の視点からの分析

表1は、「清潔の支援技術」の場面で用いられた言葉かけを介護福祉教育の視点から分析したものである。介護におけるコミュニケーション技術や生活支援技術の知識に基づいて、介護者の言葉かけに対して、その根拠や留意点を関連づけている。

テキストは介護福祉士が利用者に対して発する言葉から構成される。「支援を始める際」の言葉かけ（1－8）」「着脱の支援（9－14）」「移動の支援（15－23）」「入浴の支援（24－30）」の4つの場面があり、一つの発話に対して根拠や留意点が示されている。以下は、「根拠や留意点」のキーワードである。（ ）の数字は出現回数を示す。

個別化(1)	安心(感)(1)	ラポール(1)
共有(1)	共感(1)	同意を得る(1)
自己決定を勧める(3)	確認(する)(8)	協力を求める(1)
利用者主体(2)	自立支援(2)	配慮(する)(5)
利用者の負担軽減(3)	安全面に留意(4)	説明(する)(5)
尊重(する)(1)	意向を確認(1)	観察(する)(1)

支援を始める際言葉かけで出現する「個別化」「ラポール」「共有」「共感」は利用者が安心して支援を受けるための発話である。支援場面で出現する「同意を得る」「自己決定を勧める」「協力を求める」「利用者主体」「意向を確認」は自立支援を意図した発話、「確認(する)」「配慮(する)」「利用者の負担軽減」「尊重(する)」は利用者への尊厳を軸とした発話、「確認(する)」「配慮(する)」「利用者の負担軽減」「説明(する)」「観察(する)」は安全・安心への留意を軸とした発話となっている。

表 1 清潔の支援技術

場面	発話順	介護者の言葉かけ	根拠や留意点
支援を始める際の言葉かけ	1	山田さん、失礼します。	名前を呼ぶことで個別化（バイステックの7原則）を図る。
	2	介護者の〇〇です。	自己紹介をし、利用者に安心感とラポール形成につなげる。
	3	リハビリ頑張られているのですね。少しずつ歩けるようになってよかったですね。これから頑張りますよね。	リハビリの成果を共有することで、利用者の想いを介護者は知ってくれているというより深い共感が生まれる。 →第二次共感
	4	山田さん、今から上の服を脱いで、歩いて浴室まで行きシャワーを浴びて体を洗おうと思いますがよろしいですか？	目的の説明と同意を得るとともに、入浴することについて自己決定を勧める。
	5	体調、気分は悪くないですか？	入浴は、清潔保持において大きな効果が期待できる半面、身体的な負担も大きいので体調の確認を行う。
	6	ご自分でできることは自分でしてください。できないところはお手伝いします。都合が悪ければおっしゃってくださいね。	自立支援の言葉かけをすることで利用者主体であることを感じてもらう。支援に対して積極的な協力を求める。 →インフォームドコンセント
	7	今から、服を脱いでいきますが、お部屋は寒くないですか？	服を脱ぐ際に冷感等で不快にならないように配慮する。
	8	お手洗いは済んでいますか？	入浴途中で、原意や便意によりトイレに行くことによる利用者の負担を軽減するため。
着脱の支援	9	それでは、今から服を脱いでいきますので安定座位の確認をさせていただきます。足の裏はしっかり床についていますね。深く座れていますね。姿勢はまっすぐですね。少しお待ちください。	椅子の上で服を脱ぐため、バランスを崩し転落しないよう安全面に留意する。
	10	山田さん、服を脱ぐときに背中にバスタオルをかけますか？（少し時間を置く）かけませんか？こちらに置いておきますので、寒かったらいつでもおっしゃってください。	服を脱ぐことによる羞恥心、冷感への配慮。また、「かける」「かけない」を考えてもらう「間」をつくり自己決定を勧める。
	11	それでは、服を脱いでいきましょう。左手でボタンを外していただいてよろしいですか？左手で右の肩を抜いてください。左手で前身頃をたくしあげてください。こちら（たくしあげた部分）をお預かりしますね。	健側上肢を活用することで自立支援につなげる。 →利用者主体の生活へ
	12	前かがみになりますので、左手で椅子の手すりを握ってください。	前方へ転落しないように、安全面に留意する。
	13	左の肘から抜いていきましょう。頭を抜きますね。左手で右の袖を抜いていただいてよろしいですか？	健側上肢から袖を抜くことで、患側への負担を軽減するとともに、自立支援にもなる。→脱着意思
	14	こちら（脱いだ服）、洗濯に出してもよろしいでしょうか？	洗濯に「出す」「出さない」についても自己決定を勧める。
	15	それでは山田さん、今から立ち上がりますが、右腕にこちら（陰部付近ににかけていた）のタオルをかけてもよろしいですか？左手で右腕を持ち上げてもよろしいですか？ゆっくり下ろしてください。	歩行時にも、陰部をタオルで覆うことで羞恥心への配慮に努める。
移動の支援	16	今から立ち上がるために、浅く座っていきましょう。左手で手すりを握ってください。左足の踵が浮かない程度に後ろへ下げてください。左手足に力を入れてお辞儀をするようにして浅く座ってください。左足の踵が少し浮いているようなので浮かない程度に少し前に出してください。右足は私がお手伝いいたしますね。それでは立ち上がりましょう。左手足に力を入れてお辞儀をするようにして、立ち上がります。1,2,の3。	立ち上がりの原則を活用する。 ・浅く座る ・足を引く ・前傾姿勢
	17	ふらふらしませんか？気分は悪くないですか？	起立性低血圧を起こす可能性もあるため、必ず確認する。
	18	左足を右足に揃えてください。しっかり、まっすぐ立っていますね。	安定立位を保持（確認）するために、利用者に働きかける。
	19	それでは、今から歩いていきましょう。左足→右足の順番で歩いていきます。浴室までは床が濡れているかもしれません。気をつけて歩いてください。	麻痺がある利用者に対する安全な歩行方法の説明と、環境面における注意点を説明する。
	20	歩いていきましょう。左足、右足・・・止まってください。	利用者のペースを尊重する。
	21	左足の小指がシャワーチェアのこちらの前脚に来るように一歩前に出してください。左手の小指が下になるように手すりを握ってください。左足が軸になるようにしてゆっくり回っていきましょう。	安全、安楽にシャワーチェアへ座ることができるようポイントを説明する。
	22	ふらふらしませんか？左足は元に戻してください。左手足に力を入れてしっかり深く座ってください。安定座位の確認をさせていただきます。足の裏は床にしっかりついていきますね。深く座れていますね。姿勢はまっすぐですね。	回転する動作が入ったため、体調気分の確認を行う。
	23	こちら（右腕にかけていた）のタオル外してもよろしいでしょうか？かこに入れておきますね。	羞恥心への配慮のためのタオルを外す際、必ず本人の意向を確認すること。
	24	山田さん、シャワーのお湯の温度は40℃に設定しています。山田さんの左腕の内側でも確認していただいてよろしいですか？熱くないですか？	温度を感じやすい、前腕内側で適温か否か本人に確認してもらい、安全への留意を図る。
	25	山田さんの左足の足元からゆっくりかけていってください。	健側の足（温度を感じやすい部分）から、お湯をかけていくことで心臓への負担も軽減する。
入浴の支援	26	身体を洗っていきましょう。右腕の手首から肩に向けて洗ってください。腕の下も洗ってください。左腕は私がお手伝いします。	末梢から中枢に洗うことでマッサージ効果が得られやすい。
	27	背中を洗っていきましょう。少し前かがみになるので、左手で手すりを握ってください。	安全への配慮をする。
	28	痒いところはないですか？洗う強さは大丈夫ですか？皮膚の状態は掻き傷とかもなくきれいですよ。洗い残しはないですか？	背中では臥床中など圧迫をしやすいため、痒み、皮膚の状態、強さ、洗い残しの確認と観察を行う。
	29	山田さん、お湯の温度は先ほどと同じ40℃に設定しています。山田さんの左腕の内側でもう一度確認してください。熱くないですか？それでは左足の足元からかけてください。	シャワーの湯温変化の可能性もあるため、再確認を行う。
	30	今からゆっくりお風呂に入りますよ。	次に行うことの説明をする。

2. 日本語教育文法の視点からの分析

表2は、「清潔の支援技術」の場面で用いられた言葉かけを、日本語教育文法の視点から分析したものである。類型方法や名称は『みんなの日本語初級Ⅰ』（以下、『みんⅠ』）、『みんなの日本語初級Ⅱ』（以下、『みんⅡ』）、『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』（以下、『ハンドブック』）に倣った。

抽出された文法的要素「形式・表現」は延べ197項目で、「意味・機能」で分類をすると26項目となった。

「意味・機能」で最も多かった項目は「敬語」で、出現数は24回であった。続いて、「指示」「確認」13回、「勧誘」9回、「許可」8回、「許可を求める」7回、「呼びかけ」「話題の転換」6回、「丁寧な聞き方」5回となった。他はいずれも1～2回の出現数であった。

3. 文法形式と日本語のレベル

表2に、『みんⅠ』『みんⅡ』で学習項目として提出されている課を[]の中に示した。記載がないものは、中級以上で提出されているか、あるいは、学習項目として取り立てて扱われていない項目である。

例) ～んです／のです [26] ←26課の学習項目として提出されている

「形式・表現」の延べ総数197項目のうち『みんⅠ』『みんⅡ』で提出されている項目は158項目となっており、全体の約80%が初級の学習項目となっている。

『みんⅠ』	『みんⅡ』	その他	総数
81	77	39	197

「清潔の支援」の場面においては、初級文法が習得できていればコミュニケーションが可能であると言える。初級で提出されていない項目の中には、初級で習う文法と表現が同じでも意味・機能が異なるものがある。例えば、「～ていく」や「～ので」という表現そのものは初級で学習するものの、初級で学習する意味・機能はそれぞれ「付帯状況」と「理

由」であり、「時間・空間の移動」「前提情報」は初級ではまだ習わない。しかし、表現が同じであるといった点を見ると、初級の基礎が習得できていることが重要であると考えられる。

4. 「意味・機能」と使用場面

「意味・機能」の26項目について、特に出現数の多かった「敬語」「指示」「確認」「勧誘」「許可を求める」に関して、例文を示しながらどのような場面で使われているかについて述べる。例文の文末の()は逐語録に付された番号である。

4-1 「敬語」

出現数24回

- a) リハビリ頑張られているんですね。(1) (尊敬動詞)
- b) 少しお待ちください。(9) (尊敬語)
- c) こちらお預かりしますね。(11) (謙讓語)
- d) よろしいですか(4), ご自分(6), こちら(10) (丁寧語, 美化語)

敬語は、全体的に出現している。尊敬語は聞き手(利用者)の意向を尋ねたり、許可を求めたりする場面で多く使われている。

4-2 「指示」

出現数13回

- e) ゆっくり下ろしてください。(15)
- f) 左手で手すりを握ってください。(16)

指示で使われる表現は「～てください」で、多くは安全面に留意しながら動作を行う支援場面に使われている。「おっしゃってください」(6)など支援を始める際の言葉かけ場面で使われる「～てください」もあるが、これは「依頼」の意味を含んでいる。

4-3 「確認」

出現数13回

- g) 足の裏はしっかり床についていますね。(9)
- h) 右足は私がお手伝いしますね。(16)

「確認」は、終助詞「ね」が用いられている。動作を行う前後で、安定座位の確認や安全面に留意する場面で表れる。終助詞「ね」は、聞き手に同意を求める場合にも使われている。

- i) リハビリ頑張られているんですね。

j) これからも頑張りましょうね。

同意を求める終助詞「ね」は、話し手に安心感を与えたり、ラポールを形成したりする場合の支援を始める際の言葉かけ場面で表れている。

4-4 「勧誘」

出現数9回

k) それでは、服を脱いでいきましょう。(11)

l) 今から立ち上がるために、浅く座っていきましょう。(16)

m) それでは、今から歩いていきましょう。(19)

「勧誘」は「～ましょう」で表現されている。「～ましょう」の意味は、「話し手がする行為を聞き手もするように働きかけること」(『ハンドブック』p. 151)であるが、ここでは次の動作を始めるために聞き手(利用者)に対して注意喚起を行い、自立支援のための声かけを行っている。「それでは」や「今から」などの表現と共に用いられる傾向がある。この場合、「ましょう」は、あらかじめ決まったことをいっしょに行おうという意味として使われている。

4-5 「許可を求める」

出現数7回

n) 左手でボタンを外していただいてよろしいですか。(11)

o) 洗濯に出してもよろしいですか(14)

「～て(も)よろしいですか」と丁寧な表現を用いて、聞き手に許可を求めている。「～ていただいてよろしいですか」は自立支援の場面で、「～てもよろしいですか」は自己決定の場面で使われている。

VI. まとめ

本研究では、「清潔の支援」の場面で使われる言葉かけを介護の視点と日本語教育文法の視点から分析し、介護の場面で使われる日本語の文法的レベルと文法形式の関係について考察した。

その結果、「清潔の支援」の場面で使われる表現の約80%が初級の学習項目であることがわかった。また、介護支援を行う上で重要とされる「尊厳」「自

立支援」「安全・安心」へ向けた場面で、それぞれ使用頻度の高い表現があることがわかった。

本研究ノートをもとに、外国人が学ぶ際にどの表現が使いにくいのかといった点を明らかにし、効果的な教育実践方法を検討することが今後の課題として考えられる。

*四国大学 **鳴門教育大学

- 1) 2008年8月にインドネシアから看護師・介護福祉士候補者208名の受け入れを始め、2009年にフィリピン、2014年にベトナムからの受け入れが始まった。これら3か国からの受け入れは、あくまでも経済連携協定のもと締結された条項に基づくものであり、看護・介護分野の労働力不足への対応として行うものではないとしている。(厚生労働省ホームページ「インドネシア、フィリピン及びベトナムからの外国人看護師・介護福祉士候補者の受け入れについて」 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/gaikokujin/other22/index.html (2018. 3. 07アクセス)
- 2) 代表的なものとして、一般社団法人国際交流&日本語支援Y編著の『介護の言葉と漢字ハンドブック英語版』、『始めよう!外国人のための介護福祉士国家試験対策』などがある。
- 3) 「日本語でケアナビ」<http://nihongodecarenavi.jp/>, EPA介護福祉士候補者向け介護用語学習支援アプリ「かいごのこ!」<http://kaigonogo.com/>などがある

表2 文法的分析

[] はみんなの日本語初級の提出課題, ②③…は各ブロック (1.2.3…) における出現数

	介護者の言葉かけ (例)	支援のキーワード	形式・表現	意味・機能
支援を始める際の言葉かけ	1 山田さん、失礼します。	個別化	〇〇さん 失礼します	呼びかけ 断り
	2 介護者の〇〇です。	安心感 ラポール形成	N (職業) の N (名前) [1]	自己紹介
	3 リハビリ頑張られているんですね。	共有, 共感	がんばられる (尊敬動詞) [49] ～ている (習慣) [28] ～んです / のです [26] 終助詞「ね」 [4]	敬語 習慣 状況との関連付け 同意を求める
	少しずつ歩けるようになってよかったですね。		歩ける (可能動詞) [27] ～ようになる [36] ～て (感情を表す表現) [39] 終助詞「ね」 [4]	状態の変化 原因・理由 同意を求める
	これからも頑張りましょうね。		～ましょう [6] 終助詞「ね」 [4]	勧誘 同意を求める
	4 山田さん、今から上の服を脱いで、歩いて浴室まで行きシャワーを浴びて体を洗おうと思いますがよろしいですか？	説明 (する) 同意を得る 自己決定を勧める	〇〇さん ～て (継続・時間) [16] 中止形, ～ (継続・時間) ～ (よ) う (意向形) [31] ～ (よ) うと思う [31] よろしいですか (丁寧語)	呼びかけ 話し手の意志を表す 敬語 敬語・許可を求める
	5 体調、気分は悪くないですか？	確認 (する)	悪くない (形容詞否定形) [8] 否定疑問文	丁寧な聞き方
	6 ご自分でできることは自分でしてください。できないところはお手伝いします。都合が悪ければおっしゃってくださいね。	自立支援 利用者主体 協力を求める	ご自分 (美化語) [49] できる (可能動詞) [27] ～こと (名詞化) [18] ～てください [14] ② ～ところ (名詞化) [22] お + V マス + する (謙譲語) [50] ～ば, (条件形) [35] おっしゃる (尊敬語) [49] ～てください + 終助詞「ね」	敬語 依頼 敬語 仮定条件 敬語 親密でやわらかい表現
	7 今から、服を脱いでいきますが、お部屋は寒くないですか？	配慮 (する)	～ていく (時間の移動) 寒くない (形容詞否定形) [8] 否定疑問文	丁寧な聞き方
	8 お手洗いは済んでいますか？	負担の軽減	お手洗い (美化語) [49] ～ている (結果の残存) [29]	敬語
着脱の支援	9 それでは、今から服を脱いでいきますので、安定座位の確認をさせてください。足の裏はしっかり床についていますね。深く座れていますね。姿勢はまっすぐですね。少しお待ちください。	安全面に留意する	それでは (じゃ [3] / では [22]) ～ていく (時間の移動) ～ので (前提情報) ～させる (使役動詞) [48] ～をさせてください [48] ～ている (結果の残存) [29] ② 座れる (可能動詞) [27] 終助詞「ね」 ③ お + V マス + ください (尊敬語) [49]	話題の転換 行為の許可を得る 確認 敬語
	10 山田さん、服を脱ぐときに背中にバスタオルをかけますか？ (少し時間を置く) かけませんか？こちらに置いておきますので、寒かったらいつでもおっしゃってください。	配慮 (する) 自己決定を勧める	〇〇さん ～とき (に) [23] ～ますか。～ませんか。 こちら (ここ) [3] ～ておく (措置) [30] ～ので (前提情報) ～たら [25] おっしゃる (尊敬語) [49] ～てください [14]	呼びかけ 選択 敬語 仮定条件 敬語 依頼
	11 それでは、服を脱いでいきましょう。左手でボタンを外していただいてよろしいですか？左手で右の肩を抜いてください。左手で前身頃をたくしあげてください。こちら (たくしあげた部分) をお預かりしますね。	自立支援 利用者主体	それでは (じゃ [3] / では [22]) ～ていく (時間) ～ましょう [6] 助詞「で」 (手段・道具) [7] ③ ～てもらう [24] いただく (謙譲語) [41] ～て (も) いい [15] よろしいですか (丁寧語) ～てください [14] ② こちら (これ) [2] お + V マス + します [50] 終助詞「ね」 [4]	勧誘 行為の授受 敬語 許可 敬語・許可を求める 指示 敬語 確認
	12 前かがみになりますので、左手で椅子の手すりを握ってください。	安全面に留意する	～になる (変化動詞) [19] ～ので (理由) [39] 助詞「で」 (手段・道具) [7] ～てください [14]	状態の変化 指示
	13 左の肘から抜いていきましょう。頭を抜きますね。左手で右の袖を抜いていただいてよろしいですか？	負担を軽減 自立支援	～から (起点・場所) [4] ～ていく (空間の移動) ～ましょう [6] 終助詞「ね」 (4) 助詞「で」 (手段・道具) [7] ～てもらう [24] いただく (謙譲語) [41] ～て (も) いい [15] よろしいですか (丁寧語)	勧誘 確認 行為の授受 敬語 許可 敬語・許可を求める
	14 こちら (脱いだ服)、洗濯に出してもよろしいでしょうか？	自己決定を勧める	～て (も) いい [15] よろしいでしょうか (丁寧語)	許可 敬語・許可を求める
	15 それでは山田さん、今から立ち上がりますが、右腕にこちら (陰部付近にかけていた) のタオルをかけてもよろしいですか？左手で右腕を持ち上げてもらってもよろしいですか？ゆっくり下ろしてください。	配慮 (する)	それでは (じゃ [3] / では [22]) 〇〇さん ～が (前置き) [14] こちらの (この) [2] ～て (も) いい [15] ② よろしいですか (丁寧語) ② 助詞「で」 (手段・道具) [7] ～てもらう [24] ～てください [14]	話題の転換 呼びかけ 敬語 許可 敬語・許可を求める 行為の授受 指示

移動の支援	16	今から立ち上がるために、浅く座っていきましょう。左手で手すりを握ってください。 左足の踵が浮かない程度に後ろへ下げてください。左手足に力を入れてお辞儀をするようにして浅く座ってください。 左足の踵が少し浮いているようなので、浮かない程度に少し前に出してください。 右足は私がお手伝いいたしますね。 それでは立ち上がりましょう。 左手足に力を入れて、お辞儀をするようにして、立ち上がります。 1,2,の3。	(立ち上がりの原則を活用)	～ために(目的) [42] ～ていく(時間の移動) ～ましょう [6] ② 助詞「で」(手段・道具) [7] ～てください [14] ④ ～て(継起・時間) [16] ② ～ようにする [36] ② ～て(付帯状況) [34] ② Aく～(副詞的用法) [44] ～ている(結果の残存) [29] ～ようだ [47] ～ので(理由) [39] お+Vマス+する(謙譲語) [50] 終助詞「ね」 [4] それでは(じゃ [3] /では [22])	勧誘 指示 努力 状況からの判断 敬語 確認 話題の転換
	17	ふらふらしませんか？ 気分は悪くないですか？	確認する	否定疑問文②	
	18	左足を右足に揃えてください。 しっかり、まっすぐ立っていますね。	確認(する)	～てください [14] 立てる(可能動詞) [27] ～ている(結果の残存) [29] 終助詞「ね」 [4]	指示 確認
	19	それでは、今から歩いていきましょう。 左足→右足の順番で歩いていきます。 浴室までは床が濡れているかもしれません。 気をつけて歩いてくださいね。	説明(する)	それでは(じゃ [3] /では [22]) ～ていく(空間の移動) ～ましょう [6] ～ている(結果の残存) [29] ～かもしれない [32] ～て(付帯状況) [34] ～てください [14] 終助詞「ね」 [4]	話題の転換 勧誘 可能性 指示 確認
	20	歩いていきましょう。 左足、右足・・・止まってください。	尊重(する)	～ていく(空間の移動) ～ましょう [6] ～てください [14]	勧誘 指示
	21	左足の小指がシャワーチェアのこちらの前脚に来るように一歩前に出てください。 左手の親指が下になるように手すりを握ってください。 左足が軸になるようにしてゆっくり回っていきましょう。	説明(する)	～ように(目的) [36] ② ～てください [14] ② Nになる(変化動詞) [19] ～ようにする(働きかけ) [36] ～ていく(空間の移動) Vましょう [6]	指示 勧誘
	22	ふらふらしませんか？ 左足は元に戻してください。左手足に力を入れてしっかり深く座ってください。 安定座位の確認をさせてください。 足の裏は床にしっかりついてますね。 深く座れていますね。 姿勢はまっすぐですね。	確認(する)	否定疑問文 ～てください [14] ③ ～て(付帯状況) [34] させる(使役動詞) [48] ～をさせてください [48] ～ている(結果の残存) [29] ② 終助詞「ね」 [4] ③ 座れる(可能動詞) [27]	丁寧な聞き方 指示 許可 敬語・許可を求める 確認
	23	こちら(右腕にかけていた)のタオル外してもよろしいでしょうか？ かごに入れておきますね。	配慮(する) 意向の確認	こちら(これ) [2] ～て(も) いい [15] よろしいでしょうか(丁寧語) ～ておく(措置) [30] 終助詞「ね」 [4]	敬語 許可 敬語・許可を求める 同意を求める
入浴の支援	24	山田さん、シャワーのお湯の温度は40℃に設定しています。 山田さんの左腕の内側でも確認していただいてよろしいですか？ 熱くないですか？	確認 安全面の留意	〇〇さん ～ている(結果の残存) [29] ～てもらう [24] いただく(謙譲語) [41] ～て(も) いい [15] よろしいですか(丁寧語) 否定疑問文	呼びかけ 行為の授受 敬語 許可 敬語・許可を求める 丁寧な聞き方
	25	山田さんの左足の足元からゆっくりかけていってください。	(心臓への)負担の軽減	～から(起点(場所)) [4] ～ていく(空間の移動) ～てください [14]	指示
	26	身体を洗っていきましょう。 右腕の手首から肩に向けて洗ってください。 腋の下も洗ってください。 左腕は私がお手伝いします。		～ていく(時間の移動) ～ましょう [6] ～から(起点(場所)) [4] ～てください [14] ② お+Vマス+する(謙譲語) [50]	勧誘 指示 敬語
	27	背中を洗っていきましょう。 少し前かがみになるので、左手で手すりを握ってください。	安全への配慮	～ていく(時間の移動) ～ましょう [6] ～ので(前提情報) 助詞「で」(手段・道具) [7] ～てください [14]	勧誘 指示
	28	痒いところはないですか？ 洗う強さは大丈夫ですか？ 皮膚の状態は掻き傷とかもなくきれいですよ。 洗い残しはないですか？	確認(する) 観察(する)	否定疑問文② Aく(中止形) 終助詞「よ」	丁寧な聞き方
	29	山田さん、お湯の温度は先ほどと同じ40℃に設定しています。 山田さんの左腕の内側でもう一度確認してください。 熱くないですか？ それでは左足の足元からかけてください。	(再)確認(する)	〇〇さん ～ています(結果の残存) [29] 助詞「で」(手段・道具) [7] ～てください [14] ② 否定疑問文 それでは(じゃ [3] /では [22]) ～から(起点(場所)) [4]	呼びかけ 指示 丁寧な聞き方 話題の転換
	30	今からゆっくりお風呂に入りましょう。	説明(する)	～ましょう [6]	勧誘

参考文献

一般社団法人国際交流&日本語支援 Y 編著, 2014, 介護の言葉と漢字ハンドブック英語版第 5 版, 新元社
一般社団法人国際交流&日本語支援 Y 編著, 2017, 始めよう! 外国人のための介護福祉士国家試験対策, JICWELS
介護福祉士養成講座編集委員会, 2016, コミュニケーション技術第 3 版, 中央法規出版株式会社
スリーエーネットワーク編著, 2012, みんなの日本語初級 I 第 2 版本冊, スリーエーネットワーク
スリーエーネットワーク編著, 2013, みんなの日本語初級 II 第 2 版本冊, スリーエーネットワーク
庵功雄, 高梨信乃, 中西久実子, 山田敏弘, 2000, 初級を教える人のための日本語文法ハンドブック, スリーエーネットワーク
社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則 (昭和62年厚生

省令第50号) 別添 2 介護福祉士養成施設の設置及び運営に係る指針

参考資料

厚生労働省ホームページ
「インドネシア, フィリピン及びベトナムからの外国人看護師・介護福祉士候補者の受入れについて」
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/gaikokujin/other22/index.html (2018. 3. 07 アクセス)
国際交流基金関西国際センター
「日本語でケアナビ」<http://nihongodecarenavi.jp/> (2018. 3. 07 アクセス)
EPA 介護福祉士候補者向け介護用語学習支援アプリ
「かいごのご!」<http://kaigonogo.com/> (2018. 4. 01 アクセス)